

きょうの米原高校(6月 学園祭準備)



今年は、例年よりずっと早い梅雨入りで一体どれくらい雨が降るのだろうと心配していましたが、梅雨の間の晴れ間は初夏を感じさせる青い空です。

学園祭の準備期間の今、その爽やかな青い空に向かって生徒たちの元気な声が響いています。

太陽の日ざしが学校周囲の照葉樹に照り映え、風のながれによって緑が輝き米原高校が最も美しい季節になっています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学園祭の実施形態も変わり、保護者の方の参観をご遠慮いただく形となってしまいましたが、来週の学園祭に向けて生徒はみんなそれぞれの活動に熱心に取り組んでいます。学校で行われる行事がコロナウイルスによって中断、変更を余儀なくされ、創意工夫を必要としています。そんな中だからこそ、今だからこそ出来ることを、と奮闘する生徒の姿に今年の蒼輝祭のテーマ「蒼星～Now or Never～」の輝きを感じます。



各クラス、文化部のポスターが昇降口廊下に展示されています。



各教室では机を寄せて場所を確保し、体育祭で掲示されるバックアーチの制作に取り組んでいます。



割り当てられた活動場所だけでなく、校内のあちこちで曲に合わせてクラスパフォーマンスの練習です。



しっかり水分補給もお忘れなく

学園祭に向けて、熱中症、コロナウイルス感染症への対策にも取り組みましょう。